ふれあいネットワーク
曽於市社会福祉協議会情報紙
第73号
令和２年１月31日

手と手
やさしさ100パーセント

第15回曽於市社会福祉大会福祉ポスター高校生の部　最優秀賞

「支え愛」

鹿児島県立曽於高等学校　二年　今西（いまにし）　彩乃（あやの）
鹿児島県立曽於高等学校　二年　伊勢（いせ）　梨花（りんか）

メッセージ：「支え合うことの素晴らしさや思いやりの大切さを伝えたかったです。私たちは「愛」という言葉が好きなので、「支え合い」を「支え愛」と書いたところがポイントです。」

主な内容

新年のごあいさつ、シニア人材育成活用事業 …… P２
赤い羽根共同募金映画会、共同募金ボランティア活動 …… P３
障がい者レクリエーション大会 …… P４
児童・生徒のふれあいボランティア活動事業 …… P５
権利擁護センターから …… P６
サロンで地域いきいき、ほっとサービス …… P７
介護保険Q&A、地域包括支援センターより …… P８
各種相談窓口のご案内 …… P９
寄付金品等のご報告 …… P10

理念　人と人との
つながりを大切に
地域と共に歩む

発行 / 社会福祉法人　曽於市社会福祉協議会
曽於市財部町南俣 504 番地１（財部保健福祉センター内）
TEL:0986-72-0460・0480　FAX:0986-72-0425
E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL:http://soo-shakyo.or.jp/

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会費を財源に発行しています。

令和2年 新年のご挨拶

会長　市吉　幸二

明けましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は、多くの皆様方のご理解ご協力を賜り、順調な運営が出来ましたことを深く感謝申し上げます。

核家族化などによって地域のつながりが薄れる中、困りごとの原因も多岐にわたっております。社会的孤立は増加し、困りごとや心配事を我慢している人や支援がなければ生活を維持することが困難な方もおられます。また、医療・介護の取り巻きは、社会保障費の増加や団塊の世代が介護される年齢層になり、財政的に厳しい方向にあります。このような地域社会において、地域住民一人ひとりが地域の福祉課題を自身のこととして捉え、地域社会の中で支え合い助け合う地域共生社会の構築が求められております。

現在、曽於市社協は、「人と人とのつながりを大切に　地域と共に歩む」を理念に掲げ、約100名の職員が、地域福祉推進事業、訪問介護、通所介護、訪問入浴サービス、居宅介護支援、訪問給食サービスの事業などに取り組んでおります。

地域福祉の推進を使命に、地域のニーズを把握しながら、誰もが住みなれた地域で、その人らしく生活できるような体制づくりを支援して参ります。

地域で人口が急減する中、地域で働く青壮年も減少しております。今年は子年、鼠算式でなくても人口の維持・増加と、皆様方の健康とご多幸を祈念して挨拶と致します。

「かごしまシニア人材育成活用事業」の研修会が行われました。
開催日：11月13日～15日（3日間）　場所：末吉総合センター

日本ファシリテーション協会九州支部の平山猛氏と丸本昭氏を講師に、社会福祉協議会職員・行政職員がファシリテーションの技術やシニア人材育成の必要性を学びました。

最終日には学びを生かしながら、地域住民と一緒に１つの机を囲んで、即実践。高齢社会が進む中、自分たちの地域を見つめ直し、良いところ、課題、解決に向けた具体的な取組みを検討しました。

地域の強みを生かし、地域にある課題をどのように自分たちで解決していくか、今後どのような地域にしていきたいのか、誰もが安心して暮らせる地域の未来像を共有できたことが、これからの活動の強みになりました。

ファシリテーションとは

人と人との関係性に働きかけ、様々な活動を「容易に」「円滑に」「スムーズに」運ばせるようにする技術です。

赤い羽根共同募金映画会 2019.11.16(土)10時・14時 2回上映
「ばあばは、だいじょうぶ」の上映会を開催しました。

当日は540名を超える方々に足を運んでいただきました。チケットの取り扱いや周知活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

映画を観た方は、「自分の親のことを思いだした。病気とわかっていたけど、怒ったりしてしまったこともあったから、もうちょっと優しくしておけばよかった」「地域の中でできることは続けていき、お互いさまの関係を続けていきたい」と話されていました。

映画をきっかけに、家族や地域のことを思う機会になったようです。認知症に対する理解が進み、優しい曽於市になるように地域福祉の推進に努めて参ります。

今回のチケットの売り上げと会場で集まった募金の合計 325,560円は、全額、曽於市共同募金委員会に寄付させていただきました。

ご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金
街頭募金・イベント募金活動が行われました

10月6日、12月1日に市内の各店舗前で街頭募金活動が、また10月27日の「そお市民体育祭 in たからべ」11月10日の「そお市民祭」でイベント募金活動が行われました。これらの活動に財部中学校、末吉中学校、曽於高校の生徒にも多数参加していただきました。

参加していただいた生徒の皆さんに感謝するとともに、募金に協力いただきました皆様にお礼申し上げます。募金活動に参加された生徒に感想を伺いました。

【募金ボランティア活動に参加して】

募金活動に行く前は「ちゃんと募金していただけるかな」と募金活動をあまりしたことがない私は不安な気持ちしかありませんでした。

でも、思っていた以上にたくさんの方々が募金に協力してくださり、声を掛ける際に、最初は小さかった声も、だんだんと大きくなりました。

今回の募金活動をとおして、人の善意に触れて社会を見る目も変わってきました。

これからもこのような募金活動があったら積極的に取り組んで少しでも人の役に立てるように頑張りたいです。

財部中学校　一年　園田　七星

11月30日（土）令和元年度障がい者レクリエーション大会が開催されました。

今年で4回目の開催となりましたが、ボランティア10名の参加を含め、これまでで最も多い106名の参加がありました。今年は参加が難しい事業所に大会を盛り上げる横断幕やイラスト、プログラムなどを作成していただき、競技に出られなくても作品で大会を盛り上げるという形で参加していただきました。

競技では、玉入れなどの恒例の競技に加え、ボッチャやアキュラシーといった新しい競技にも挑戦しました。ボランティアの方の積極的な協力もあり、和気あいあいとした雰囲気の中、一つ一つの競技に皆さん集中され、声援も大きく響いていました。

「もっと競技をやりたかった」「作品を見てもらう事に喜びが感じられた」「ボランティアとして参加してみたが、すごく良い時間を過ごせた」「手作りのものが多くて楽しかった」といった声が聞かれ、参加者、ボランティア、道具を作って大会を盛り上げてくれた方、皆の気持ちがつながる大会になったのではないでしょうか。

このレクリエーション大会を通じて得られたつながりや気持ちを、お互いを認め合いながら自分らしく暮らすことができる地域づくりにつなげていけたらと思います。

新種目のアキュラシーです。
フライングディスクが輪の中を通る度に、歓声が上がりました。

パラリンピックの競技になっているボッチャ。チームの勝利を願いながら、白玉の近くを狙っています。

恒例となった魚釣り。
参加できない方々の思いもいっしょに釣り上げました。

児童・生徒のふれあいボランティア活動事業より

櫶小学校では、児童・生徒のふれあいボランティア活動事業に取り組み今年で３年目となります。今では、「自然を守るボランティア日本一」をスローガンに掲げて、ゴミ拾いなどのボランティアに積極的に取り組んでいます。

ある日、市民の方から嬉しい FAX が届きました。

櫶小学校長様

おはようございます。

先般の運動会ご苦労様でした。

さて、本日は朝から通勤途中にて感動することがありました。

通学途中の櫶集落の親子？（お母さんと女児）かと思うのですが、いつも二人仲良く徒歩で通学されておられます。そして今朝はお母さんがゴミ袋を片手に二人で道路のゴミを拾いながら通学されていました。

自分の通学路を美しくしようという想いと親子愛に感動いたしました。

私たち大人がしっかりとその行動を称え、地域の方々にご紹介すべきことだと思うと同時に、ゴミを捨ててしまう大人の身勝手な行動がいかに恥ずかしいことなのか、未来を担う彼らに美しい郷土を引き継がなければならないと改めて考えさせられる朝の出来事でした。

小学校でのご指導の賜物と感謝いたします。

がんばれ！　あおきっ子

活動認定証の授与

「こんなにゴミを拾いました」

このように、周りの方々に思いやりの気持ちが伝わっていくことは、とても素敵なことだと思います。これからも色々なことに積極的にチャレンジしてくださいね。　　地域福祉コーディネーターより

ボランティア活動をした感想

朝来る時に、楽しくゴミ拾いをしています。ゴミ拾いをすると、とても気持ちがよくなります。

6年　佐多　望（のぞみ）

雨の日に水道そうじなどをしています。あわをつけてピカピカになるととても気持ちよくなります。

5年　横山　芽惟（めい）

権利擁護センターから

～安心して暮らし続けるために～

生活していくうえで、不安なことや困っていることはありませんか？

- 福祉サービスを利用したいけど手続きがわからない。
- どこにどんな施設があるのか、利用料などわからない。

- 役所から書類がきたけど何が書いてあるかわからない。
- 郵便物をどうしたらよいかわからず不安だ。

- 生活費の使い方が自分でうまくできない。
- 年金の受取りや電気代などの支払が自分でできない。

- 預金通帳や印鑑の保管場所を忘れがちになった。
- 大切な年金証書や預金通帳は信頼できるところに預けたい。

「福祉サービス利用支援事業」をご存知ですか。安心して暮らすための支援を行っています。

◎福祉サービスの利用の手続きのお手伝いをします！（基本サービス）

- さまざまな福祉サービスの利用に関する情報の提供、相談、申し込み、解約の手続き
- 福祉サービス利用料金の支払い代行
- 福祉サービスについての苦情解決制度を利用する手続き

※福祉サービスとは、介護保険制度などの高齢者福祉サービス、障害福祉サービスなどです。

○日常生活のお金の出し入れをお手伝いします！

- 年金、福祉手当等の受領に必要な手続き
- 医療費、公共料金、税金等のお支払い
- 日用品購入代金のお支払い
- 預貯金の出し入れ、また預貯金の解約等の手続き　など

○印鑑や証書などを安全な場所でお預かりします！

- 保管できる証書類〈例〉
  - 年金証書　●預貯金通帳
  - 保険証書・不動産権利証書・契約書　など
  - 実印・銀行印
  - その他社会福祉協議会が適当と認める書類

※宝石、書画、骨董品、貴金属類や有価証券などはお預かりできません。

お気軽にお問合せ・ご相談ください。秘密は厳守いたします。

曽於市社会福祉協議会 権利擁護センター　☎0986-72-0460　担当　新川・元山・山口

サロンで地域いきいき

ふれあいいきいきサロン
サロンはやま（大隅地域）

平成29年度に上坂元、新坂元、中坂元の３自治会で一つのサロンをつくろうと、皆さんに声かけをして始まりました。３年足らずですが月に２、３回集まっております。当番を決めてはいますが、それにとらわれず準備するほど、毎回のお茶会が楽しみの皆さんです。

サロンでは、社会福祉協議会や病院の方に来ていただき健康講話を聞いたり、長寿会と一緒に活動することもあります。スカットボールをすると１～２時間はあっという間に過ぎてしまい、帰りは夕方になってしまうこともあります。

皆さんと話し合いながら、手を取り合って年齢に合った助け合いを楽しく面白く笑顔で頑張っていきたいと、活動しています。　代表　野村　テル子

住民同士で助け合うしくみ
「ほっとサービス」協力会員連絡会及び研修会を開催

ほっとサービスは、住民参加型の在宅福祉サービスです。サービスを利用する人も提供する人も同じ地域に住む住民同士。「みんなでお互い助け合っていこう」という趣旨で行われる、会員制の有償サービスです。

12月６日には、サービスの充実に向けて、協力会員連絡会及び研修会を開催しました。研修では鹿児島県認知症介護指導者の田中穂積氏から「認知症の理解と対応」と題して講演をいただきました。認知症の人への対応にあたっては、三つのこと（驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない）を心得ておくことが大切とのアドバイスがありました。みんなが認知症について正しい知識を持ち、助け合うことができれば、認知症の人もその家族も穏やかに暮らすことができるとも言われ、自分たちに何ができるか考える機会になりました。

グループワークでは、「利用者の登録が少ない」「ほっとサービスを知らない方が多い」「車の免許を返納した方などは利用が増えるのではないか」「サービスを利用しながらお互い信頼関係ができてくる」などの意見が出されました。今後もこのほっとサービスを通して、地域の支え合いの関係づくりを支援していきます。

ほっとサービスについては、本会地域福祉課までご連絡ください。

介護保険に関するQ&A

訪問介護サービスでは、できないことがあります

質問 一人暮らしの父が心配で、訪問介護サービスを利用してもらおうと思っていますが、介護保険サービスでも、訪問介護員ができない支援（サービス）があると聞きました。できない支援とは具体的にどんなことですか？

回答 訪問介護サービスの、身体介護や生活援助の支援内容については、国からの通知により定められていて、介護支援専門員等が作成する居宅サービス計画書（ケアプラン）に支援の内容が位置付けられていることが必要となり、通知内容の範囲以外の支援は原則できないことになっています。

具体例として次のようなものがあります。

具　体　例	
利用者本人の支援でないものや家族のために行う支援	同居する家族の部屋の掃除／家族の衣類の洗濯／家族の食事の準備など
ご家族が行うことが適当と判断される支援	家族が日常的に行える買い物・調理・掃除・洗濯　など
日常生活に支障がない支援	庭の草取り／大掃除／家の周りの掃除／障子の張り替え／窓ガラスの拭き掃除／ペットの世話　など
日常的に行われる家事の範囲を超える行為	来客者へのお茶出し／家具等の移動／草木や花の手入れ／送迎／リハビリやマッサージ／金銭管理／特別に手間のかかる調理　など
医療行為にあたる支援	褥そう（床ずれ）の処置／たんの吸引／点滴／摘便（便を指でかきだす）／爪白癬（爪の水虫）などにかかっている人の爪切り／経管栄養の注入　など

※訪問介護サービスのホームヘルパーは、家政婦やお手伝いさんではありません。
自立支援のために、利用者様ができることはご本人にしていただくことが基本となります。

地域包括支援センターより

ー介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務についてー

地域包括支援センターには、地域の高齢者が介護を必要とする状態（要介護状態）になることを防ぎ、住み慣れた地域で最期までその人らしく自立した生活を送ることができるように支援する役割があります。介護支援専門員など担当職員がその方の状態に応じた介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務を行なっています。

○要支援１・要支援２の認定を受けた方

予防通所リハビリや予防福祉用具貸与など従来の介護予防給付や総合事業における介護予防・生活支援サービスを適切に利用できるよう介護予防ケアプランを作成、サービス事業所等との連絡調整を行ないます。

○生活機能低下がみられる方

市の総合事業を申請し事業対象者として判定された方は、総合事業における介護予防・生活支援サービスや一般介護予防事業を利用できるよう、必要に応じて介護予防ケアプランを作成しサービス事業所等との連絡調整を行ないます。

心配ごと相談所開設のお知らせ

日常生活のことでお困りのことがありましたら、ご相談ください。

開設日　毎月第２、第４木曜日　９時30分から正午まで

		2月13日	2月27日	3月12日	3月26日
財　部	相談員	棚木原	鎌原	橋本	柳田
	場　所	財部保健福祉センター			
末　吉	相談員	原田	吉田	羽嶋	山内
	場　所	そお生きいき健康センター			
大　隅	相談員	大村	津曲	佐伯	鍋山
	場　所	大隅弥五郎伝説の里			

ひとりで悩まないで
弁護士による無料福祉相談窓口

ひまわりの会による無料福祉相談窓口

○相談日時及び会場：

会場	そお生きいき健康センター	大隅弥五郎伝説の里	財部保健福祉センター
相談日時	2月20日（木） 13時から16時まで	3月19日（木） 13時から16時まで	4月16日（木） 13時から16時まで

○相談料：**無料**です。（相談者からはいただいておりません）

※１回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**

ひまわりの会　事務局　代表弁護士　山口　政幸

☎ 099-227-0041（受付：平日９時～17時）　鹿児島市山下町12番17号２階

藤尾法律事務所による無料法律相談会

○相談日時及び会場：

会場	財部保健福祉センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	3月10日（火）、4月14日（火） 13時から15時まで	2月18日（火）、3月17日（火）、4月21日（火） 18時から20時まで

○相談料：**無料**です。（相談者からはいただいておりません）

※１回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**できるだけ事前に予約してください。**

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー　藤尾法律事務所　末吉支所

☎ 0986-51-9830　曽於市末吉町本町1-4-5

たくさんの善意に感謝いたします。

本会では、この善意を地域の皆様の福祉向上のために大切に使わせていただきます。
なお、本紙への掲載につきましては、寄付者の承諾を得てご希望どおりに寄付者名簿を掲載しております。

香典返し寄付金（敬称略）（令和元年 11 月 1 日～ 12 月 31 日）

財部地区

尾之上　アツ子	南
須賀　勉一	須賀
内村　博幸	西村
室屋　裕子	川内
伊集院　兼弘	水ノ手
永吉　利美	下谷川内
泊ヶ山　都	柿木
永川　マリ子	中正ヶ峯

末吉地区

稲留　光晴	和田
小園　重夫	大園下
原　誠	口弁木
宮尾　克秀	菅渡
栗屋　秀治	法楽寺
髙野　敏子	鶴木
吉田　枝美子	川内前
三枝　ミサエ	三枝前
匿名　1件	

大隅地区

吉峯　守	別府
坂元　孝志	あけぼの
隈元　一農	久木山
八木　純夫	桂

一般寄付金品（敬称略）（令和元年 11 月 1 日～ 12 月 31 日）

末吉地区

大園　征郎　3,000 円

大隅地区

㈲堀切建設　代表取締役　堀切　俊夫　100,000 円
匿名　ランドセル
匿名　米 30kg　9 俵

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様は年末年始をどのように過ごされたでしょうか。

私は 80 歳代の祖母を連れて家族旅行に行ってきました。一緒に温泉に入ったり、美味しい物を食べたりする中で祖母の笑顔をたくさん見ることができました。常々祖母がひとりで歩けるうちに一緒に旅行に行きたいと思っていたので実現できて良かったです。

まだ入職して 1 年足らずですが、職場や地域の皆様に温かく迎えられ、助けていただきながら毎日の仕事を頑張ることができています。今後も皆様のご指導をいただきながら成長していきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。　K．M